

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分に動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・友だちとの関わりを楽しみ、自分の思いを伝えようとする。 ・夏から秋への自然の変化に気づき、興味・関心をもつ。 	子どもの姿 先月の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・プール遊びや水遊びを繰り返し楽しみ、自信をもって遊んでいる。 ・夏の間に経験したことを保育者や友達に夢中になって話している。 ・夏休みをとっていた子どもは、久しぶりの登園に喜んでいる子どももいるが反面、戸惑っている子どもの姿もみられた。 	行事	<p>13・27日 英語であそぼう 25日 おはなし会 20日 身体測定 28日 避難訓練</p>
内容		環境構成		保育者の援助及び配慮	
養護 ○生命 ・情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の健康状態を把握し、健康で快適に生活できるようにする。 ・一人一人の思いを十分に受け止めて安心して過ごせるようにする。 ・身の回りの事や生活に必要なことを自分から行おうとする。 ・水分補給を、こまめに行う。 ・汗をかいたら拭いたり、シャワーを浴び清潔にする。 ・気温や活動に合わせ衣服を調節する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡などの休息を取ったり、水分補給しやすいコーナーを用意し、室内の温度を調節したりしておく。 ・安心して自分の思いが伝えられるよう、ゆったりとした雰囲気や時間をつくれるようにする。 ・生活リズムを取り戻し自分で行えるように気付けるような言葉がけをしたり、進んで行っている姿を認めたりする。 ・やりたいことを充分に楽しめるように声を掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの体調の変化を見逃さず、視診や触診をこまめにする。また、異常があった時は適切に対応し、看護師と連携をとる。 ・保育士の目の届くところで、十分休息が取れるようにし、健康で快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の姿勢を認めたり、励まして自信に繋げていく。 ・汗をかいた時や、汚れた時などの着替えの必要性に気付けるようにし、自分で着替えられるようにする。 ・活動に応じて自分で衣服の調節が出来るようにする。 		
教育 ○健康 ・人間関係 ・環境 ・言葉 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の仕方を思い出し、自分から取り組もうとする。 ・避難訓練で安全な生活のしかたを知ったり、非常時にどう行動すればよいか分かるようになったりする。 ・気温や体調にあわせて、衣服の調節ができる。 ・戸外から帰ったら、足洗い手洗いカラガラうがいをし丁寧にふこうとする。 ・鼻汁が出たら、自分でかもうとする。 ・戸外で体を動かして遊ぶ心地良さを味わう。 ・公共のマナーや安全に気を付け行動する。 ・身近な自然に触れ季節を感じる。 ・自分の持ち物への意識が身についてくる。 ・経験したこと、思ったことを言葉で伝える。 ・思いの伝え方、言葉遣いに気を付ける。 ・生活に必要な挨拶が身についてくる。 ・運動会に向けて楽しく積極的に取り組もうとする。 ・簡単な約束やルールを守りながら友だちと競い合って遊ぶ楽しさを味わう。 ・夏から秋への季節の移り変わりに気づき自然に興味を持つ。 ・経験したことや、楽しかったことなどを保育士や友だちに伝え会話を楽しむ。絵本や童話に親しみ、興味を持って聞く。 ・さまざまなものの音、色、形、手触り、動きなどに気づき、驚き、感動したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムを取り戻し、自分で伝えるように気を付けるような言葉がけをしたり、進んで行っている姿を認めたりする。 ・災害時に落ち着いて保育士の話を聞いて約束事を守るように普段から話をしたり絵や写真などで、視覚的にもわかりやすく示したりして怖がらないように行動できるようにしていく。 ・ルールのある遊びや、みんなで同じ動きを楽しんだり触れあったりできる遊びを取り入れ、一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 ・身近な遊具や用具がすぐに使えるよう配置を考える。 ・秋の自然に触れられるように散歩に出掛ける機会を持てるように下見などしておく。 ・ゆったりとした時間を持ち、子どもたちが話しやすい雰囲気をつくる。 ・生活や遊びの中での言葉のやりとりを通して、子どもの主張をした気持ちや十分に受け止め状況によっては、保育士が仲立ちをして、互いの思いが伝わる嬉しさを感じられるよう、素材や、用具を用意する。 ・自分で考えてやってみようとする気持ちを大切に见守る。 ・リズムに乗って楽しめるようみんなで歌える場を設定していく。 ・制作に必要な物を設置しておく。(のり・はさみ・クレヨン・画用紙等) ・粘土・自由画・クーピー等出しやすい場所に用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの変化や残暑の影響などから食欲のなくなる子どももいるため、個人差に応じた配慮をする。 ・災害時に気を付けなければならないことや、園での行動の仕方を視覚的にわかりやすく示し自分なりに考える機会を持てるようにする。 ・保育士が積極的に戸外に出て走ったり踊ったりし、子どもと一緒に楽しむことで戸外で体を動かすことの心地良さを知らせていく。 ・戸外で友だちと一緒に思い切り身体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・空の高さや、雲の形の違いなど、保育士自身が季節の変化に気付いたことを子どもたちに伝える。 ・子ども同士の会話は、温かく見守り様子に応じ言葉を補い、相手に伝わる嬉しさを感じられるように援助する。 ・自分の思いを通そうと口調が強くなってしまふことがあるので、言い方に気付けるように保育者が知らせていく。 ・子どもの伝えたい気持ちを大切に受け止め、聞いてもらう喜びや、話す楽しさを感じることが出来るようにする。 ・絵本や図鑑を見やすい場所に用意しておく。 ・子どもの発想を誉めたり認めたりしながら、感動を共有できるようにする。 ・子ども達が、自由に楽しく歌っている姿や踊っている姿を見守ったり、保育者も一緒に楽しむ。 		
家庭・地域との連携		月の反省		自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・園生活がスムーズに送れるように、保護者に夏休み中の様子や経験を聞いたり園での様子を伝えたりしながら、それぞれに合わせて連携を取っていく。 ・運動会に向けて取り組んでいる姿を保護者に伝え、子どもの成長を共感できるようにする。 					